

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:6月29日(金)

会場:作木山村開発センター

参加人数:88人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>小学校の生徒が減り、複式学級にならざるを得ない状況である。安心して作木の学校へ通えるようなまちにしたいという思いで地域テーマ「子どもたちが住み続けることができる作木であるために」を設定した。</p>	<p>学校の規模については、大小様々であるが、最終的には一人ひとりの生徒にしっかりと学力をつけていけるかどうかを重要であると考えている。</p>	
<p>作木の女性の皆さんと意見交換会を実施した。そこでは、若い世代が作木に住み続けるためには、悩みを気軽に相談できる体制や子どもの見守りを地域でできる体制が必要という意見や、三次のどこに住んでいても教育環境は同じ条件であってほしいなどの意見が出た。そのために自治組織として、地域応援隊や市の職員と話し合って方向性を出していきたい思いである。</p>	<p>・「ネウボラみよし」は、まさに悩みを気軽に相談できる体制として作ったものである。作木では福祉保健センターの保健師に相談してもらえれば、「ネウボラみよし」につないでいくことができるので気軽にご相談いただければと思う。</p> <p>・教育環境については、空調整備・ICT教育・電子黒板等、市内のすべての小・中学校において同じ条件を提供できるよう取組を進めているところである。</p>	
<p>学校の存続は大丈夫なのか心配である。何か手だてを講じてほしい。これには企画推進するマンパワーがもう少し必要であると思う。地域おこし協力隊と一緒にできることを考えてもらいたい。</p>	<p>地域おこし協力隊については、今年度11人中7人が任期を終える。制度としては、定住につなげていくことが目的であり、協力隊員は、農業支援やまちづくり等様々な活動を行っている。来年度に向けて色々なご意見も聞きながら方向性を整理していきたい。</p>	
<p>子どもの未来応援宣言のパンフレットは県内へ宣伝したのか。</p>	<p>今年度は全国的なイベントが三次で開催される予定となっている。その他、いろいろな機会を捉えて発信していきたい。また、子どもの未来を応援する取組は、他市でも行われており、三次市は広島県で初めて子どもの未来を応援する首長連合にも参画した。機会があればその中でも情報発信していきたい。</p>	
<p>三次市には、仕事はそこそこあるが、娯楽が少ないと思う。娯楽を増やすことが若者を呼ぶことにもつながると思う。</p>		
<p>若者は高齢者ばかりのところに帰ってきたいと思わないと思う。合併して支所の職員が減った。中央でないとできない仕事ばかりではないと思うので、支所に配置する市の職員を一人でも二人でも増やしてもらえたら賑わいも増えると思う。</p>		
<p>江の川をきれいにして、柳を伐採して道をつける等、景観を良くしてほしい。江の川を生かせば、見に来る人もいるかもしれない。</p>	<p>江の川本線については、河川管理者は国になる。国の判断もあるが、伐採すべき箇所を特定し、国に伝えていくことができる。川に降りる道が少ないというご意見についても、ここに道をつけてほしいという意見を取りまとめでいただければ、国に要望することができるので取りまとめをお願いしたい。</p>	
<p>子どもの通学について、昔は8キロ離れた駅に車で送って行ったりしていた。30年経って息子が子育てする時代になった今でも環境が変わっていない。冬の除雪体制については、昔より悪くなっていると感じる。子育て環境はそういった環境から変えてほしい。子どもが少なくなり、他の地区と学校を統合となった場合は、道路の確保や通学路はどうしたら良いのか。</p>	<p>道路の除雪については、皆さんに大変なご苦労をかけていることを聞かせてもらった。今三次市では、3500を超える市道を抱えており、その維持管理を一生懸命やっているところである。除雪や倒木の除去について、地域のみなさんにご苦労をおかけしているところではあるが、ぜひご理解ご協力をいただき話し合いをさせていただきながら一つひとつやっていきたい。</p>	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:6月29日(金)

会場:作木山村開発センター

参加人数:88人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>酒屋のエリアで交流人口は増えているが、作木に定住人口を増やしてほしい。教育環境や道路環境はどうしてくれるのか。これからは周りの地域の過疎を解消する施策に力を入れてほしい。</p>	<p>日本全体としても少子高齢化や人口減少については、歯止めがかからない現状がある。特効薬はないため、これを緩和・抑制する施策で立ち向かっているところである。交流人口を増やし応援団をつくること、また三次や作木に人の流れを生み出すことが大きな課題であると思う。周辺地域の問題については、大きな課題であると認識している。旧三次を除く7地域の中でも、甲奴町は社会増、三和町では社会増減が変わらないという状況になってきており、明るい兆しも見えてきている。すべては整わないが、作木にはカヌー公園がある。夏の時期を中心に多くの子どもたちが楽しみに来ており、いかに人の流れを生み出すかを行政と一緒に考えていただきたいと思っている。</p>	
<p>避難場所とは制度的にどういった性格を持っているのか知りたい。例えば、避難場所で災害に巻き込まれた場合に補償が出たりするのか、ただ逃げる場所として指定しているだけなのか。</p>	<p>避難場所は作木に28か所あり、洪水・土砂災害・地震にわけて指定している。避難場所とは、災害が起こった時に一時的に避難する場所である。また、避難所とは、生活に支障をきたす場合や避難場所に1週間程度あるいはそれ以上滞在することになった場合に利用していただく所である。</p>	
<p>ハザードマップの作成について、ワークショップで進めていきたいと言われたが、どのような中身なのか、また今どのような状況か知りたい。</p>	<p>現在手続きを行っている。作木ではかなり詳しいマップを作っていた。それに県のデータを重ねて、1件1件に対応できるマップを作成できないかと考えている。避難所や避難場所、避難ルート等も地域の皆さんのご意見を聞きながら落とし込んでいきたい。明確な時期はまだ決まっていないが、早めに準備し、順次まわらせていただきたいと考えている。</p>	
<p>旧三江線の代替バスについて、できるだけ利用したいと思っているが平日の利用は難しいと思う。土日等に外部から人を呼び込むような観光施策やイベントを開催してほしい。</p>		
<p>旧三江線の線路の上にカズラや竹が迫ってきている。かといって敷地内には勝手に入れない。2~3年でいろんな木や草が生えてくると考えられる。景観のためにも、来年の3月までJRと話しができると思うので、JRと話し合いをして除草等を考えてもらいたい。</p>	<p>JRに責任を持って管理していただかないといけなところなので、その状況は市役所から伝えていきたい。</p>	
<p>地域づくり懇談会について、テーマを一つだけに決め、三次市内で日曜日に開催してはどうか。</p>	<p>今日もたくさん来ていただいた。日曜日の開催で人が集まるかどうかはこちらでも検討したいが、自治組織でも検討していただきたい。</p>	
<p>旧三江線の代替バスについて、下地区には待合所ができなかった。大津へ待合所をぜひ作ってもらいたい。</p>	<p>三江線が廃止になったことでの待合所整備の支援対象地域にはなっていない。それをご理解いただいた上で、今後、ご意見を伺いながら検討していきたい。</p>	